



検索・中野あきと

みどりと清流

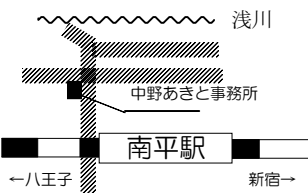
日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)
(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2021年
9月号

第224

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



コロナ禍から 市民の命、暮らし、 営業を守る対策

中野あきと市議に聞きました

市内の感染状況

市内の感染者は連日、数十人規模で確認され、入院・宿泊療養者は70人超、自宅療養・入院調整者は317人となっており(8月30日現在)極めて深刻な状況です。

入院治療の現状

入院治療は、日野市立病院と市内民間病院で行われています。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振っています。日野市においても連日、数十人のレベルで感染者が確認されています。日野市の現状はどうなっているのか、市の対策、共産党市議団の取り組みについて中野あきと市議に聞きました。

自宅療養者への 対応・支援

日野市では8月20日から感染によって自宅療養されている方に、東京都の物資が届くまでの3日間について、1日3食分の食糧支援を行っています。

また、「パルスオキシメーター」300個を、医師会を通じて自宅療養者を診る医療機関へ提供するなどの支援を行っています。

共産党市議団の 取り組み

深刻な事態が広がる中、市立病院、医師会、医療関係者、商工会、飲食業関係者などに実情や要望を聞き取りました。

また、「仕事を辞めさせられた」「仕事がない」など

院と市内民間病院で行われています。

市立病院の現状を聞いたところ、医師、看護師をはじめ医療従事者の懸命な治療・看護が行われていますが、コロナ禍が1年半も続き体力的にも精神的にもギリギリで、コロナ病床を増床したくても看護師などの体制が取れない、募集しても集まらないなど、本当に大変な状況ということでした。

共産党市議団が求めた緊急要望

■医療、自宅療養者への 対策・支援

医療、暮らしと営業、子どもと教育に関して緊急対策を求めました。

医療は、看護師など医療従事者の確保に市長が先頭に立ち、市をあげて取り組むこと。在宅療養者への支援については、医師が必要だと診断した方が在宅で酸素を受けられるよう、酸素濃縮器の確保と専門業者との連携協力を求めました。

■市民の暮らし 飲食業者への支援

緊急事態宣言が延長に次ぐ延長の中、暮らしや営業の厳しさが増えています。

緊急に、ひとり親家庭などへ支給していた特別給付金の再支給が必要です。

飲食業を営んでいる方々に対して、今年の春に給付

された中小企業者事業継続支援補助金(売り上げが前年比20%以上減少している事業者対象)や家賃支援の再支給が強く求められています。

同時に、市内飲食業をはじめとした中商業者に對する実態調査を行って、さらなる必要な支援を行うことを求めました。

■子どもと2学期への 学校の対応

市内でも保育園など子ども施設の感染が発生しています。保育園、幼稚園、学童クラブ、小中学校での定期的な検査と、陽性者が出た時は濃厚接触者に該当しない場合でも広くPCR検査等を行うことが必要です。八王子市などそうした対応を始めている自治体も出てきています。

また、夏休み明けの2学期では、子どもたちのさまざまな不安やSOSを受けとれるよう、分散登校など少人数による教育やスクールカウンセラーなどの緊急増員による体制をつくることを要望しました。

「2面へつづく」



短信

菅首相の実像に迫るドキュメンタリー映画『パンケキを毒見する』を観た。パンケキは菅首相の好物。記者との会食の時などによく食べているそうだ。秋田県生まれ、横浜市長を経て首相に。映画は周囲の証言や取材に風刺を折り込み、その本性に迫っていく。浮かびあがってくるのは「権力を求め続ける」姿。首相就任のときに掲げた「自助・共助・公助」は、「自助」ばかりが国民の上に覆いかぶさっている。前日まで「総裁選に打って出る」と言っていた菅首相。

「こんな政治は我慢できない」という湧き上がる世論の前に万策尽き、とつとつ政権を投げ出すに至った。ならばと名乗りを上げた総裁候補の面々。テレビでコメントーターがその「違い」を解説するが、いずれも安倍・菅政権を支えてきた人々ではないのか。「桜を見る会」「GOTOトラベル」「五輪の強行開催」など、表立って異を唱えたことなど一度もない人ばかりだ。『政治を変える』ことこそ多くの国民の願い。「表紙の取り換え」では何も変わらない。野党に課せられた責任もまた重い。

「本気の共闘」の実現で国民の期待に応えねばならない。『笑って、あきれて、怒って、選挙に行く』は、『パンケキを毒見する』のサブタイトルだ。「明かりが見えた」という菅首相の言葉の影で、今日も救える命が失われていく。コロナ禍の真ただ中、国民の命がかかった総選挙がやってくる。

「1面のつづき」

9月市議会では

9月議会が始まっています。

コロナ危機とも言えるような事態から、市民の命、暮らし、営業、子どもの教育を守るために、緊急提案したコロナ対策の実施を迫っていききたいと思います。

コロナ禍で困っていたり、悩んでいることなど、ぜひ、お聞かせください。



地域の皆さんの声が行政を動かす 浅川の堤防かさ上げ計画 桜並木の保存を考慮した 計画に変更へ

平山5丁目の浅川堤防のかさ上げ工事で桜並木を伐採する計画が国土交通省より示されていましたが、このほど、桜並木を可能な限り残す計画へと変更して工事を進めることが明らかにになりました。

7月下旬に開かれた国土交通省京浜河川事務所主催の浅川堤防かさ上げ工事の住民説明会で、桜並木の伐採を前提に工事を進める計画であることが分かりました。参加した地域住民のみなさんは桜並木の保存を願い声を上げ、また、桜並木の保全と両立するかさ上げを求めて日野市や京浜河川事務所とのやりとりを行ってきました。

なお、清水とし子都議、中野あきと市議も、共産党・宮本徹衆院議員事務所を通じて桜並木を保全した全国の事例などを調査・把握するとともに、8月6日に国土交通省の担当官と会って実情・要望を訴えました。



▲国土交通省に訴える 清水都議（左）と中野市議（右）
▼浅川堤防の桜並木の下で遊ぶ園児（2019年4月撮影）



▲左が建設中の仮橋、右が現在の日野橋。日野市側から撮影、正面に見える対岸は立川市。（2021年8月撮影）

《日野橋建て替え工事》 仮橋工事進行中

一昨年の台風19号で橋脚の一部が沈下し、老朽化が問題になっている多摩川に架かる日野橋の建て替え工事。昨年（2020年）11月から仮橋の建設工事が始まりまして。

工事は日野橋上流約30㍍に3年間かけて仮橋を建設、その後現在の橋を7年間かけて同じ場所に建て替える予定です。

<日野の風物詩>（その8） 穀倉をうるおした平山堰（せき） （浅川・平山橋スグ下流）



しぶきを上げて勢よく水が流れ落ちていきます。ここは浅川、平山橋の50㍍ほど下流の平山堰（せき）です。堰は取水などのために流れをせき止めるもので、ここには豊田用水の取水口があります。

かつて日野は江戸（東京）の穀倉と言われ、特に浅川の両岸はほとんどがたんぼでした。たんぼには大量の水が必要です。この豊田用水は今でも立派な現役で、豊田、東豊田、川辺堀之内のたんぼをうるおし、下流で上田用水と合流しています。

平山堰はこうのように、長年の先人たちの苦勞がしみ込んだ川の中の大切な「構築物」なのです。浅川沿いを通る時に、ちょっと川面に目を向けてみてはいかがでしょうか。（写真は豊田側の土手から撮影。写真の上部は平山橋です）

よりよい公共交通をめざし 中野あきと事務所が学習会



▲参加した住民の方々と中野あきと市議（中央）

8月27日、共産党の中野あきと市議事務所は「南平地域の公共交通空白地域解消」をテーマに学習会を開きました。

講師の中野市議は、ミニバスを全国でもいち早く取り入れた日野市の公共交通は、今どうなっ

ているのか、また日野市に多い公共交通空白地域の現状と、丘陵地の多い日野市では高低差を加味した公共交通の充実も必要だと話しました。

さらに、南平地域では、4つの交通空白地域の解消と、2路線あるミニバスの路線検討・増便要求・新しいバス停の設置要望もある。高齢化が進行する中で早急な改善が必要であり、道路の狭い地域ではウゴンタクシーやデマンド型交通などの柔軟な対応も必要となっている。住民と協力して運動を起こし、日野市や東京都との粘り強い交渉が大切だと強調しました。

15人が参加した学習会では、参加者からも積極的な発言がありました。



【2021年10月の無料法律相談日】

- 10月 7日（木）午後6～8時 中野あきと事務所
 - 10月14日（木）午後1～3時 日野市役所6階共産党控室
- お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042
- ◎法律相談以外のお困りごともお気軽に
中野あきと事務所 ☎042-599-3350

しんぶん
赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円
◎短期間のお試し購読。一部売りも。
お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所